

耳公民館だより



第77号 令和8年1月



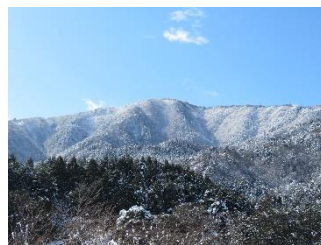
(折り紙サークルさんの作品)

令和8年「午年」が明けました。

左の写真の2頭の馬、実によくできていますね。
今にも駆け出しそうな勢いを感じます。馬は力強い
前進の象徴と言われます。皆さんの今年一年が
一步一步の積み重ねで実り多い年になりますよう
ご祈念申し上げます。また、耳公民館の事業へ
のご協力もよろしくお願いいたします。

「控えにまわった写真たち」展

公民館だよりには耳地区の風景写真を載せてきましたが、撮影はしたものの
迷いつつ採用しなかった写真を展示します。



...

写真でふりかえる 立ち寄り型講座「ふらっと」展



小さな取組ですが、
楽しい作品ができました



立ち寄り型講座「ふらっと」ニュース

⑧ 開くと楽しい切り紙「雪の結晶」

放課後子ども教室 第6回 12/10



館長のつぶやき

控え

お正月の一大イベント箱根駅伝はまれにみる劇的な展開で、その後の関連番組を何度も見て楽しめました。優勝した大学は記録づくめの圧倒的な強さで、エースの神がかり的な走りが大きく報道されました。

確かに一人の激走での大逆転には度肝を抜かれましたが、今回は正規メンバーの体調不良で補欠から起用となった選手や、ずっと補欠で四年生にして初めて走った選手の活躍があつての快挙です。一般に補欠というと「選ばれなかった」というイメージですが、いつでも走れるように準備をして出場を待つ「控え」の力が鍵をにぎるという全員の高い意識がチームに層の厚みと安定感をもたらしていると思います。

建築の世界では、ブロック塀や建物にT字型に添える「控え壁」や門扉やフェンスに使う「控え柱」というものがあります。安全性や耐久性の面でとても重要で、建造物本体を補強し支えるなくてはならない「控え」です。中心となる柱が「スター選手」なら、頼りになる「控えメンバー」ということになります。

公民館講座は伝統的なスタイルですが、そうそういつもにぎわうわけではありません。サークルの皆さんの活動や利用者の方々の語り合う声が公民館を支えていただいています。

ろうかの展示では、地域の方からお借りする写真や作品が公民館らしさを出してくれています。まだまだ出番を待っている控えの作品やアイデアがあると思います。ご遠慮なくお知らせください。喜んでうかがいます。